

SSKS

2025. 3月号

No. 572

# せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



## せんかわアート展2025を開催しました



今年もせんかわアート展を開催することができました。日々の活動を通して、利用者はひたむきに「私」を表現しています。繊細な作品や力強い作品など、目をひきつけてやまない作品の多くがアート展を彩りました。

会場に足をお運びくださった皆さまには、新鮮で多彩な表現のゆたかさを感じとっていただけたのではないのでしょうか。

次回は2026年に開催予定です。また楽しみながら多くの作品を作り上げていくことでしょう。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



# 創作的活動を展開していくこと

～心のゆたかさへの繋がり～

## ななほしワークスでのアート活動について

ななほしワークスではアート活動で、創作的活動の一環として「季節や行事」をモチーフに制作活動を行っています。活動を通して季節の変化を感じることで、制作過程で行われる技法や作業を通して「見る・触れる・気づく」といったことや、「創造性の表現・感情の表出」に繋がることを大切に、活動を行なっています。

ななほしワークスでのアート活動を始めた当初、職員は何をしたら良いのか、どのような作品を作ったら良いのかわからず、手探りで活動を考え、試行錯誤で活動を行なってきました。作品づくりのテーマを決め手順を明確にするために、毎回同じ流れで活動を提供した方が利用者も安定して活動にとりくむことがわかってきました。

今回はななほしワークスにおけるアート活動の事例をご紹介します。



【講師の先生と相談しながら進めていきます】

## 根気強く向き合うこと

アート活動にとりくむ中で、当初はこのようなことがありました。「私は絵が上手じゃないから、描けないの。」とAさんは困った表情で職員に訴え、アート活動にとりくむことができません。自分の顔をモチーフに活動を提供した時のことです。Aさんはアート活動に対して苦手意識が強いものの、活動には徐々に参加できるようになっていました。しかしながら「作品を上手に仕上げたい（仕上げなくてはいけない）」といった気持ちが強く、手が止まってしまう活動をやめてしまうこともしばしばです。「上手に描けなくても大丈夫ですよ。そっくりなものを表現したければ、写真でいいでしょう？」と職員からAさんに伝えると、Aさんは驚いた表情で「上手に描けなくてもいいの？」と答えます。困った表情を浮かべながらも、「やってみようかな。」という気持ちが向いてきた様子が伺えます。

そこで、間を置かずに別の職員がきっかけを作ります。「Aさん、髪の毛の部分が難しいと思うから、私と一緒に相談しながら描きましょうよ。Aさんの髪の毛の色は綺麗な色をしていますよね。何色で塗りましょうか。」そうして、Aさんは安心した表情に戻り、職員と相談しながら楽しそうに制作にとりくみます。そうしたAさんの表情を見て、ようやく職員も安心です。

その後はAさんにさまざまなモチーフやテーマで制



【イメージを形にしています】

作活動を提供していますが、「上手にできなくても大丈夫」ということがわかり、安心した様子で積極的に活動に向かう姿を見ることができるようになりました。

今年も同じモチーフを別の手法で提供しました。「私、絵は苦手なんだよね。」と言いつつも、とても楽しそうに3枚の自画像を仕上げる事ができています。「上手にできなくても大丈夫」けれども、向き合うことで少しずつ上手になっています。アート活動は、そのような積み重ねをくり返し、楽しさを自身で作っていく活動なのかもしれません。

## せんかわアート展2025 ～オンラインでも3月まで開催～

2月にせんかわアート展2025を開催しました。今年度も、武蔵野プレイスギャラリーにて行ない、ホームページ上でも作品展示を行なっています。

せんかわアート展では、毎年ななほしワークスの作品だけではなく、千川作業所やワークイン中町、千川おひさま幼児教室、千川さくらっこクラブ、千川さくらんぼクラブの創作的活動で制作した作品も展示しています。

また、法人利用者から応募した作品も展示しています。今年度も19名の方から28点の作品を提供していただきました。多くの利用者に作品を提供していただけるようになり、作品発表の場として利用者が楽しみにしていること



【できた作品をみんなに紹介】



【冬の素材で顔を作ろう】

を感じています。利用者が達成感や喜びを感じることができる場として、今後もせんかわアート展を続けていきたいと思えます。

せんかわアート展オンラインでは引き続き、利用者の作品をご覧くださいことができます。場所に限りがあり会場で展示できなかった作品も観ることができます。ぜひ、素敵な世界観をご覧ください（～3月14日（金））。

（文責：ななほしワークス 東 竜太郎）

右のQRコードを読み込んでいただくと  
オンラインでせんかわアート展をお楽しみ  
いただけます。

<https://www.musashino-senkawa.com/art/>



【講師：山本 晴奈氏】

### 【講師プロフィール】

女子美術大学大学院美術研究科で学ばれ、博士前期課程を修了し、ご自身も現役のアーティストとして活動を続けています。

令和5年度8月から、ななほしワークスにてアート活動の専門講師としてご指導いただき、毎週火曜日に活動を行っています。

## 三鷹・武蔵野地区 障がい支援事業所合同作品展「テトテヲ」が開催されます

2025年3月6日(木)～9日(日)

10:00～17:00

(最終日は12:00まで)

三鷹市芸術文化センター第4美術展示室

東京都三鷹市上連雀6-12-14 地下1階

主催：社会福祉法人 にじの会



せんかわアート展から厳選された作品を「テトテヲ」でもご覧いただけます。ぜひ、足をお運び下さい。

## 【とびっくす】～インスタだより vol.21～ #視察研修

2月6日(木)、7日(金)に愛知県名古屋市の社会福祉法人ゆたか福祉会様を訪問させていただきました。

全国で最初の共同作業所を生み出し、武蔵野千川福祉会より7年早い1969年に設立された社会福祉法人です。

今回は62事業所ある中の8事業所を見学させていただきました。

作業所でのとりくみやGHの支援と設備、武蔵野千川福祉会でも課題になっている高齢化への対応は大きな学びとなりました。今回の学びを法人全体で共有し、今後の法人運営や実践に活かしていきます。



### 今月の動向 ～令和7年2月～

- 5日(水) 幼児・児童支援部学習会、常任理事会
- 6・7日(木・金) ゆたか福祉会様訪問
- 17日(月) 内定者向け研修(ビジネスマナー)
- 18日(火) 地域生活支援部学習会
- 19日(水) 所長会議
- 20・21日(木・金) せんかわアート展
- 22日(土) きょうされん東京支部実践交流会
- 26日(水) 常任理事会  
生活介護事業所学習会

### 来月の予定 ～令和7年3月～

- 4日(火) B型事業所学習会
- 5日(水) 常任理事会・センター連絡会議
- 6日(木) 周年行事打合せ
- 9日(日) オープンカレッジ東京
- 14日(金) 就職説明会
- 18日(火) 常任理事会
- 19日(水) 所長会議
- 25日(火) 理事会
- 29日(土) 年度末全体職員研修
- 31日(月) 門出を祝う会 (おひさま幼児教室)



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区御形3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価50円